

# 令和8年度市民公益活動促進補助金申請事業の審査結果

大阪狭山市市民公益活動促進委員会

●審査実施日：令和8年4月19日（日）

●参加団体数及び事業数

チャレンジ部門：1団体・1事業 ○総補助金申請額：100,000円

自立促進部門テーマ型：5団体・5事業 ○総補助金申請額：819,000円

自立促進部門提案型：2団体・2事業 ○総補助金申請額：500,000円

●審査結果：チャレンジ部門1事業、自立促進部門テーマ型4事業及び提案型2事業の推薦を決定し、補助金の査定額は下表のとおりです。

なお、自立促進部門テーマ型1事業については、事業計画及び予算内容に確認・修正を要する点があるため、保留としました。

●評価部会の審査を踏まえ、令和8年5月1日（金）開催の大阪狭山市市民公益活動促進委員会で審議を経て公表するものです。

■チャレンジ部門

	申請団体名	申請額 (円)	査定額 (円)	申請事業の概要	審査会からのコメント
1	Book Shelf	100,000	100,000	《1回目申請事業》 本を媒介とした対話の場を定期的に関き、誰もが気軽に立ち寄り、交流できる居場所を創出することで、地域住民のつながりやコミュニティ形成を図る。	本を通じた対話の場づくりにより、地域住民のつながりや居場所づくりに寄与する取組として評価できます。今後は、補助対象事業とご自身の他事業との区分の明確化に取り組んでください。また、協力団体や連携先を広げることで、多様な人々の参加と活動の発展につながることを期待します。
	本を媒介とした「対話」の場(読書会等)を定期的に創出することで、地域住民のつながりや居場所を育んでいく				

■自立促進部門テーマ型

	申請団体名	申請額 (円)	査定額 (円)	申請事業の概要	審査会からのコメント
1	大人の本気見せたら会	169,000	169,000	《3回目申請事業》 自分たちで考え作った商品を売買する、子どもだけのマルシェを実施する。子どもの主体性にフォーカスし、どんな環境や立場の子どもも自分で考えや感情を安心して表現できる場所づくりをし、生きるチカラを育む。	子どもが主体的に考え、表現し、挑戦できる場をつくる取組として意義が認められます。今後は、安全面や運営体制に配慮しつつ、教育委員会や学校現場にも活動を知ってもらうことで、事業の理解と広がりにつながることを期待します。
	こどもまちつく天国				
2	まちづくり研究会	100,000	100,000	《2回目申請事業》 認知症への関心を高め、正しい理解を広めることを目的に認知症を自分事として捉える体験と多世代交流に重点を置いた事業をおこなう。認知症について考える機会を創出し、地域全体の意識向上を図る。	認知症を自分事として捉える機会をつくり、多世代交流を通じて地域の理解促進を図る取組として評価できます。今後は、SNSでの発信による成果の見える化や、配布した種を回収して循環させるなど、地縁団体や各種団体などを巻き込みながら、事業に取り組んでください。また、子ども世代への広がりに向けては、教育委員会との連携や働きかけを進めてください。
	オレンジいっぱいプロジェクト in大阪狭山				

	申請団体名	申請額 (円)	査定額 (円)	申請事業の概要	審査会からのコメント
3	特定非営利活動法人南大阪サポート ネット	220,000	220,000	《5回目申請事業》 ひきこもりの若者たちと支援者が、廃油を集めてEM廃油石鹸づくり、その石鹸を使ってもらうことを通して、社会との繋がりを持ち、自分にも社会にも優しい循環のある取組みとして社会に貢献することで、当事者が望む自分らしい生き方の実現を目指す。	ひきこもりの若者が社会や地域との関係を築くきっかけを得られる取組として評価できます。環境への配慮と社会貢献の視点を併せ持つ点にも意義があり、今後はEMの特長や取組の趣旨を伝える工夫を行うことで、事業への理解と関心がさらに深まることを期待します。
	ひきこもりの若者たちが「EM廃油石鹸」で未来との循環を作る				
4	大阪狭山防災士の会	150,000	150,000	《2回目申請事業》 人とペットの防災体験を実施し、人と動物の共生する社会づくりを推進するとともに、平時から行うべき対策や災害時の同行避難について飼い主などへの普及啓発を行う。	人とペットの防災をテーマに、平時からの備えや同行避難について考える機会を提供する取組として意義があります。先行事例に限られる中ではありますが、ペットの安全面や施設を使用するルールを順守するなど実施方法に十分配慮しながら、市域全体からの参加が見込まれるよう取り組まれることを期待します。
	～みんなで学ぶペット防災体験&ペットと同行避難～				
-	猫ともくらぶin大阪狭山	180,000	(保留)	《2回目申請事業》 人とペットの防災をテーマに、平時からの備えや同行避難について学び、考える機会を提供する啓発事業です。講習会や教室の開催を通じて、ペットを飼っている市民をはじめ、子どもや地域住民に対し、防災意識の向上と適切な備えの促進を図ることを目的としています。	
	『命を守るヒーローは君だ!』 ～助かる命を助けるためにできること～				

■ 自立促進部門提案型

	申請団体名	申請額 (円)	査定額 (円)	申請事業の概要	審査会からのコメント
1	特定非営利活動法人南大阪サポート ネット	260,000	260,000	《3回目申請事業》 ひきこもり当事者は支援窓口や相談に行けない状況がほとんどであり、当事者の親も相談場所を探すのに苦労するケースが多い中、本事業でひきこもり・不登校に関する支援マップを作成することで、近隣他市にわたり負担なく情報に出会えるようにする。	ひきこもりや不登校に関する支援情報を分かりやすく届けようとする取組であり、必要な人が負担なく情報にアクセスできる仕組みづくりとして評価できます。今後は、継続的な情報更新の工夫や配布先の拡大を進めながら、実効性の高い支援につながることを期待します。
	ひきこもり、不登校に関する支援マップ作成				
2	NPO団体 グローバル・スクール	240,000	240,000	《4回目申請事業》 高齢者の孤立・孤独を防ぐことを目的として、歌の力で元気になれるように、大きなスクリーンに映像と歌詞を映しながら、ピアノの生併奏で昭和と平成に流行した歌謡曲などを楽しく全員で合唱する事業を実施する。	歌を通じて高齢者の孤立・孤独の解消や健康増進を図る取組として評価できます。今後は、担い手の確保や次世代への継承を進めることが重要であり、有償ボランティアを含む若い世代の参画も視野に入れながら、継続的に運営できる仕組みづくりを検討していくことが期待されます。
	“歌の力”で高齢者の孤立、孤独をサポートする「高齢者憩いの歌声広場」				